

放課後子ども総合プラン運営委員会(第1回)

●開催年月日 平成28年7月19日(火)

●場 所 江南市役所 3階 第3委員会室

●出席者 出席委員 10名

会 長	伊 藤 鶴 吉
副 会 長	松 本 秀 樹
委 員	柴 田 広 美
委 員	今 井 敦 六
委 員	遠 藤 陽 子
委 員	仙 田 桂
委 員	橋 本 禎 枝
委 員	滝 保 子
委 員	菱 田 幹 生

欠席委員 5名

委 員	熊 澤 光 浩
委 員	吉 野 薫
委 員	坪 内 三
委 員	梶 田 福 好
委 員	丹 羽 鉦 貢 (代理 中村信子)

説明のため出席した職員

教 育 長	村 良 弘
教 育 課 長	稲 田 剛
教 育 課 主 幹	梅 本 孝 哉
教 育 課 副 主 幹	横 川 幸 哉
子 育 て 支 援 課 副 主 幹	大 脇 信 之

事務職員

教 育 課 主 事	大 橋 潤 一
教 育 課 主 事	山 田 淳 子

午後1時30分 開 会

1. 教育長あいさつ

2. 会長あいさつ

3. 議題

(1) 平成 27 年度放課後子ども教室推進事業及び放課後子ども総合プラン事業報告並びに平成 28 年度放課後子ども教室推進事業及び放課後子ども総合プラン事業計画（案）について

事務局より説明

質疑

教育長 申込状況の中で、平成 28 年度の登録者数が古知野南小学校で、5名減、古知野西小学校で5名増となっているが、何か意図があるのか。

事務局 古知野南小学校は、前年度は 55 名、28 年度は 50 名となっています。安全管理員の方より、現状のままでは子供の安全を確保するのは困難である、との申し出があり、検討の結果 28 年度は 5 名減と対応させていただきました。古知野西小学校は、前年度はスタートの年であり、申込も少なかったのですが、28 年度は申込も増えたため定員を拡大して、5 名増の 30 名とさせていただきました。

教育長 古知野南小学校は、登録人数に比べると出席率が 55 パーセントと低いのであれば、あえて定員数を減らさなくてもいいのではないか。

事務局 検討させていただきます。

委員長 放課後遊びの会の参加人数について何かありますか。

委員 曜日によって参加人数も違ってくるとはと思いますが、出席率が上がるように考えております。夕方、子供を迎えに来られる保護者の方には、「頑張ってくださいね」と声を掛けるようにしています。

委員 特別に支援が必要な児童も分け隔てなく抽選がおこなわれているのか。

事務局 厳選に抽選を行っています。

委員 手のかかる子には人員投入が避けられないと思うが、子供の安全を確保するために、定員数を減らすことよりも、他の対策を考えていただきたい。

教育長 放課後遊びの会の第 2 回目以降の内容は、どのようになっているのか。

事務局 前半はゲーム、後半は読み聞かせ、というパターンは決まっていますが、コーディネーターの方が、毎月、いろいろ工夫をして、子供が飽きないようなプログラムにしています。

教育長 放課後子ども教室は従来通りだと思うが、学童保育の方も特別なプログラムを考えたのか。また、学童保育の子供たちの反応はどのようなものだったのか。

事務局 今回、合同で行う対象学年が1年生、2年生ということで、読み聞かせとゲームを実施しています。今後、対象学年を広げて、学年や参加者に合わせて、工夫して実施していきたいと考えております。

プログラムについては、特別に用意したプログラムではなくて、今まで行っていたものを合わせて合同プログラムにしたものです

学童保育の子供たちも楽しそうに参加しています。

教育長 学童保育の指導員の方たちの感想は、どのようなものか。

事務局 学童保育の子供たちも楽しそうに参加していますが、やはり放課後子ども教室中心という部分があります。学童保育も参加するにあたり、協力体制をとることができれば、よりよい参加が出来ると思います。今後、そのような取り組みが出来るように考えております。子供たちについては、大いに喜んで参加しています。多くの3年生と4年生の児童も参加を希望しています。

委員 江南市放課後子ども総合プランの事業の内容に「放課後子ども教室では、地域住民との交流を通して地域と一体となって子供を見守る事業」とあるが、江南市では、何か実施している事業は、あるのか。

事務局 江南市放課後子ども総合プランの放課後子ども教室において、「地域住民との交流を通して地域と一体となって」とあるのは、国の指針に倣っております。布袋小学校では、スクールガードの方が折り紙を教えるために、何度か参加していただいております。今のところ、地域の方を採用してプログラムに参加していただく、ということは予定しておりませんが、今後は、地域の方との交流を通して、プログラムに積極的に参加していただくことも必要であると考えております。

教育長 国の政策のなかで、放課後子ども教室は、地域の方の力を活用することが手立てとして盛り込まれているが、江南市では、今現在市が採用した方たちが中心となって指導している。将来的には、地域の方との交流を通して、プログラムを企画していく必要があると思われる。

委員 放課後子ども教室と学童保育との連携を、さらに充実させていくことも重要である。

(2) 平成27年度放課後児童健全育成事業報告及び平成28年度放課後児童健全育成事業計画(案)について

事務局より説明

質疑

教育長 12ページの月別児童出席表で、登録人数が毎月増減している。

これは、毎月登録をすることにより変わるのか。最初の事業報告を見ると、申請の受付を12月5日に開始して、12月15日に終了している。その時に、登録者数が確実になるのであれば、なぜ月毎の登録者の人数が増減するのか。教えていただきたい。

事務局 学童の申込については、12月15日までに申込みをしていただいた方全員が、登録が出来るようにしています。例えばその時の申込み人数が100人の時は、書類に不備等がなければ、100人登録できます。それ以降に申込みをされた方が、待機となります。実際に4月1日から始めると、辞退される方たちがいます。その方たちの分を補充して、なるべく待機の方たちを少なくしています。また、途中で辞退される方がいたら、その分も補充していくので、毎月の登録人数が増減することになります。その他、申込みの時点で長期だけの方もいます。これにより、長期休暇になると、登録人数が急に増えることになります。

平成28年度の申込者数は、全体で1,061名です。各学童の人数が定員を超えています。特に布袋小学校の定員が60名に対して、最初、161名の申込みがありました。昨年度は142名でした。出席率60%からみると、100名位が適切かと思われそうですが、待機となるため、全員の方を受け入れました。161名の内46名が長期のみの方です。120名は今のまま布袋小学校で受け入れて、残りの46名については、交通児童遊園の2階で、布袋の学童保育を行いました。布袋小学校、古知野南小学校、古知野東小学校の3校については、申込状況以上に待機の方がみえました。全小学校で、待機児童を無くすようにしたいのですが、今年度は布袋小学校でしか実施出来ませんでした。

委員長 登録人数は、全校児童の何割程度か。

教育長 古知野南小学校の場合だと、4月の登録人数が131名で最大だが、これはだいたい1学年分である。1から3学年だと大体3分の1弱になる。4年生を加えたとしても、おおよそ3分の1に近い児童が登録していると思われる。

事務局より、施設整備の追加説明

(3) 意見交換について

教育長 放課後子ども総合プラン事業計画(案)で、総合プランとして、古知野西小学校が既に実施され、今年度9月以降に藤里小学校、その後古知野東小学校で開催予定とあるが、それ以降の計画はどうなっているか。3校でのプランが、一体型プログラムとして勧められているようだが、施設等の関係により、やはり難しいのか。

事務局 放課後子ども総合プランの江南市の行動計画の中での予定にそって進めております。28年度は、新たに、藤里小学校で実施予定です。29年度は、古知野東小学校、古知野南小学校で一体型での合同プログラムを実施する予定です。ただ、条件として変わってきているのが、古知野南小学校の敷地内の駐輪場に、新施設を建設するプランがありました。29年度は延期となりました。しかし、プログラムとしては、一体型としての実施を考えていかなければと思っています。30年度も29年度と同じ4校での実施を予定しております。31年度は、4校に加えまして、布袋小学校、宮田小学校、門弟山小学校、7校での一体型のプログラムの実施を予定しております。

委員 広報にボランティアの募集が掲載されているのを見て、前回、ボランティアの人数が不足しているということで、対応をしていただいたのだと思う。藤里小学校では、一時期定員割れをしている時期があったということだが、参加人数も増え、意見を聞いていただいている結果ということで、嬉しく思い、お伝えさせていただいた。

委員 昨年から、この場に出席させていただいている。委員の方と同行して、現場を見させていただき、より内容が理解できたと思う。

委員 厳選な抽選方法とは、本当に保護者に理解できるような方法なのか。また、放課後子ども教室は、年間を通して登録人数が変わらないが、学童保育は、夏休み等は登録人数を増やしている。たとえば、教室間で、連携をして相互協力をするなど、国の指針があると思うが、夏休みの様なニーズのある時に、江南市スタイルを持ってもらえると、保護者としてはありがたい。

委員 初めて、この委員会に参加した。子供が、小学1、2年生の時に、学童保育を利用させていただき助かりました。親は、子供たちが放課後どのように遊んでいるか知りません。放課後の過ごし方は、とても大事だと思う。放課後子ども教室、学童保育、子ども総合プランは、働く母親の方達に、とても大事で、助かると思う。ぜひ、勧めてもらいたい。

4. その他

次回の運営委員会については平成29年2月を予定

午後2時35分 閉会